

後援：横浜市鶴見区

多文化共生 言語と文化の コミュニケーション を目指す



日時

10/1^土～12/10^土

全9回 13:30～15:30

受講料 ¥6,000(全9回)

申込受付期間 8/8(月)～9/30(金)

会場 鶴見大学会館
(JR鶴見駅西口より徒歩1分)

定員 100人(先着順)

申込方法

下記の事項を明記の上、郵送又はFAXでお申し込みください。

《記載事項》 講座名「つるみ連携カレッジ」・郵便番号・住所・電話番号・氏名・フリガナ・生年月日・性別
《あて先》 〒230-0062 横浜市鶴見区豊岡町3-18 鶴見大学会館内 鶴見大学生涯学習センター
つるみ連携カレッジ係 TEL 045-574-8686 FAX 045-584-4588

※インターネットからもお申し込みが出来ます。 ※詳しい資料(パンフレット)を無料でお送りします。

※お申込時に取得した個人情報は厳重に取扱い、本講座以外の目的で使用することはありません。

講座内容

第1回 10/1 ^土	イギリスの多文化主義と文化生産 鶴見大学文学部講師・菅野素子
第2回 10/15 ^土	イギリスの中の二言語(バイリンガル)社会 —ウェールズの事例 鶴見大学文学部准教授・松山明子
第3回 10/22 ^土	音楽とダンスによる異文化交流 —アルゼンチンタンゴを例として 鶴見大学大学院文学研究科特任教授・相良英明
第4回 10/29 ^土	コミュニケーションはすべてを解決するのか? —日々の決まり文句から古典文学にまで探る、 フランス、スペイン、イタリアそれぞれの人間(男女)関係 鶴見大学文学部教授・加川順治
第5回 11/5 ^土	漢字文化圏における異文化交流 鶴見大学文学部教授・金文京

第6回 11/12 ^土	James Joyce—His works and Ireland (ジェイムズ・ジョイスの作品とアイルランド) *逐次通訳付 鶴見大学文学部准教授・マーティン・コネリー
第7回 11/19 ^土	非言語コミュニケーション —ことばによらないコミュニケーションとは 鶴見大学文学部教授・草薙優加
第8回 11/26 ^土	ペルシアの言語と文化:イランの歴史的展開をふまえて 早稲田大学文学学術院非常勤講師・高木小苗
第9回 12/10 ^土	異郷の文学—異文化の中で生きる 鶴見大学大学院文学研究科特任教授・相良英明

関連シンポジウムのご案内

公開シンポジウム(申込不要・入場無料)
「鶴見区の多文化共生を考える」(仮題)
12月3日(土) 於 鶴見大学会館メインホール

お問い合わせ先

横浜 鶴見大学生涯学習センター

TEL 045-574-8686 FAX 045-584-4588 <http://www.tsurumi-u.ac.jp>

